

令和2年度

学生によるオレンジリボン運動

国際医療福祉大学大学院 実施報告書



実施主体 国際医療福祉大学大学院 助産学分野

実施内容 ポスター掲示によるオレンジリボン運動の周知

①事前に取り組んだ内容

虐待について授業やDVに関するDVD等を見るなど自己学習も行き、理解を深めました。

また、現場で働く助産師から実際の事例等のお話をお聞きする機会もあり、医療者として虐待の早期発見のみならず、虐待予防のための助産師としての関わりやケアの重要性を感じました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

お母さん方が利用するであろう、保健所や近隣や実習先の産婦人科病院に連絡をし、ポスター設置によるオレンジリボン運動の広報のお願いを行いました。

③オレンジリボン運動を終えて…

今年は、コロナウイルスによる大学祭の中止に伴い、オレンジリボン運動の広報活動を全面的に行うことは出来なかった。しかし、今回のオレンジリボン運動によって、児童虐待予防への関心と問題意識をより持つことが出来た。

また、虐待について理解を深め、学生同士が虐待をテーマに話し合う機会となった。

今回の学習での学びや気づきを大切に、助産師として「虐待予防」となる関わりやケアを考えていきたい。

写真